

第 6 回海陽町立海南病院改革検討委員会議事録

令和 2 年 11 月 24 日（火）

19 : 00 ~ 20 : 30

海陽町役場海南庁舎

3 階大会議室

委員長： 本日の改革検討委員会では、これまで検討委員会で検討してきた課題を、より具体的な目標設定を行い、検証に繋げるという説明を頂きます。みなさん活発なご意見をよろしく願います。

事務局： 報告事項（1）第 5 回検討委員会の協議事項について説明。

委員長： 質疑等がありますか。質疑がないようですので、次に移りたいと思います。

協議事項（1）海南病院改革計画についてですが、前回の第 5 回検討委員会では、徳島県の見解も頂いた中で、基本方針案や改革案について、委員の皆さんから了承を頂いているところでありますが、具体的な数値目標等や再検証の方法について、事務局より説明いたします。

事務局： 協議事項（1）海南病院改革計画（令和 2 年度～令和 4 年度）について説明。

委員長： 今年度も含めて令和 4 年度までの数値目標や検証についての説明がありました。質疑等がありますか。

委員： 医師の確保の見通しはどうか。

事務局： 海南病院としての自助努力はしていくが、徳島大学や徳島県へ引き続きご支援を頂きながら、海南病院独自でも動いていき、努力していくことが大事であり動いているところがございますが、今の段階で何名来て頂けるとは言えないが、さらに努力していきたいと考えている。

委員： すばらしい計画であるが、病院と町民との温度差がある。病院は立派な目標を立てているが、町民にしたら特養を病院に持っていたらいいという声がある。病院はこの 1 年で医師、看護師、事務職員等が変わってきた

と感じているが、変わったといっても町民が行かないからわからない。町民に広報をしていかなければならないのではないか。改革が終わってから広報するのでは遅い。集まりの時に病院の良さは伝えているが、病院と町民の温度差がある。

委員長： 検討委員会が終了し、改革計画は町議会にはかり広報するのか。

事務局： この改革計画をご承認していただければ、町議会に報告しご意見を頂き、内容を町民の皆さんに広報等で周知する。

委員： 町議会議員の皆さんも、町民の皆さんの海南病院に対する思いや意見も聞いているので海南病院の改革については、関心が高く、町政の中でも大きな課題なので、明日臨時議会が開催されるので、全員協議会で報告し、丁寧に説明していく。まずは、議員の皆さんに理解して頂き、賛同を得て、最終的に改革内容を詰めて、町民の皆さんにしっかり変わったと言ってもらえるように、丁寧に広報をしていく。

委員長： 訪問看護、訪問診療、訪問リハビリを別にして目標を立てているが、同じ対象者の方が多いと思う。別個として考えるのではなく、具体的な対象者を洗い出し、シミュレーションをすればいい。今の目標より多くなると思う。そうすれば、もっと収入の増が見込める。

委員： 地域から信頼される病院を目指すことと、一般会計からの繰入金を減らすことを目標にしているが、医師を増やすのは難しいと言われているので、住民に信頼されるには、変わったことを知って頂かなければならない。そのためには、広報が大切である。病院での専任の広報担当者を配置し、町民に改革等を知って頂くことが大切。物を売るには宣伝しなければならない。広報をすればそこその物でも売れたりする。令和4年度で1億何千万円収入が増やせるなら1人500万円くらい使って広報する職員を雇えばどうか。信頼される病院を目指すなら広報は大切。

委員長： 海南病院に専任の広報担当者の配置をすればいいということですね。

委員： 医師を増やすのは難しいということなので、看護師の数を増やすということなんですが、病床数を45床維持し、看護師を増やせば人件費が増え

る。海南病院が厚労省より、再編の病院に指定されたのは、収支実績は全く関係ない。診療実績が少ない、或いは診療実績が類似かつ近接している公的医療機関に対して再編・統合を促すという事なので、そういうところで、医療の効率化と医師の働き方改革の方向性を加味して、再編・統合を求めた。これまでの議論では海部病院と海南病院の機能が類似して、海陽町にミニ海部病院をつくる感じがする。今後1年、2年はいいいが、将来患者を取り合いになって、2つの病院が共倒れし、潰れてしまうかも知れないかと心配している。海南病院のあり方は、海陽町だけで考えるのではなく、海部郡内全体で考えるべき。徳島県の見解である病院規模を段階的に縮小していく提案、それと厚労省の指摘を考えると、今の考え方は、真逆の考え方だ。数値目標が達成できない場合、どのように考えていくのか。その時にもう一度再検討するのか。それでは遅いと思う。海陽町の財政が豊かならいいが、2年間猶予があるが、この計画がうまくいかなかった時にはどうするのか。

事務局： 今年度を含め3年間の目標設定をし、高い目標ではあるが、職員一同頑張っていこうという認識で取り組んでいく。また、毎月、院内会議で検証はしていく。評価委員会（仮称）でも毎年の実績について検証して頂き、再検証の方法については、検討していきたい。再検証は必要と考えているので、令和2年度の実績ができれば、検証を行う。具体的には、達成率をどうするのかという事はありますが、住民から厳しい意見や目標が達成できない場合は、縮小等も検討するという事なので、今の段階では令和4年度までの目標として、掲げているので、しっかり取り組んでいきたい。

委員長： 2年後では手遅れになるという意見もあるが、病院が一致団結して改革するというので、この改革計画でよろしいか。

委員： 検討委員会で議論し始めたのはコロナが流行る前だったので、コロナが流行って環境が変わってきた。今、医療機関はコロナ禍で収益が2~3割減少している。県立3病院もコロナの影響により減収している。それぐらい厳しい中で、海南病院は収益が上向きになっていることを認めて欲しい。外来患者から以前は厳しい意見を言われたが、このごろ海南病院は変わってきたね、看護師さんの態度とかいろんな事が変わってきていると言われた。少しは認めて下さっているんだとうれしく思う。改革検討委員会で皆さんのご意見を頂き、それを職員が、真摯に受け止め、変わって来たんだ

と思う。今後も皆さんに病院に来て頂き、変わったところをみて欲しい。私から見ても、職員の考え方が変わってきたと感じている。これまでの皆さんのご意見を頂くことにより変わってきたと思い感謝している。

委員長： 検証は評価委員会（仮称）を開催し、それぞれの取組項目について評価するとあるが、この委員会で検証を行うということですか。

事務局： 毎月の検証については、院内会議で行っていきたいと考えている。また、改革の中で、評価委員会（仮称）を開催し、必要な意見を聴き、項目について検証し評価するとしておりますので、体制や進め方については、今後検討していく中で、委員の皆さまにお願いすることになりましたら、あらためてご相談させて頂ければと考えている。

委員： 提案といたしまして、検討委員会の設置要綱では、海南病院の改革に関する事ということがあり、改革案を策定して頂くことで、本日まで進めてきて頂いたが、改革はこれから始まるという事ですので、町議会にも説明して、町としての成案としなければならないが、この改革検討委員会でも、町としての方針についての検証について、引き続き検討委員会の皆さんにして頂きたい。検証という事になれば、専門性の面で委員の補充ということも考えなければならないかも知れないが、改めて相談させて頂きたい。検討委員会としては、これがゴールではなく、改革の進捗についても評価、ご意見を頂ける形で継続して、評価にも少し体制は検討する必要があるが、引き続き関わって頂きたい。

委員長： 委員の皆様には、満場一致ではないし、全く正反対の方向性を求めるご意見もあるが、この改革計画を最終結論とさせて頂き、引き続き検討委員会の皆様に検証を行う際には参加して頂くという事でよろしいか。

委員： 徳島県の直近の医師会報で県西部の理事の方が載せているのに、西部地域は南部地域に比べて前を進んでいる。南部地域では、若者は減っているが、高齢者は減ってない。西部地域では、高齢者の受診人口自体が減ってきている。クリニック等も10年前に比べると2/3に減っている。これからも進んでいく。病床削減についても、経済的なことばかりではなく、地域住民の目線に立って考えなければならないければ、人口が減ると、クリニックも減り、そうするとまた人口も減るといった悪いサイクルとなっていくと載っていた。

南部地域においても経済的な事を考える事は非常に大事な事ですが、それを考えつつ公的な病院は病床を余分に持っていなければならない。そうしなければ、大変な事になるのではないかと考える。もちろん海部病院と役割分担し、急性期の患者さんは海部病院にお願いして、回復期の患者さんを送って頂いて、役割分担をしながら、病床については余裕を持たして欲しいというのが、今の考えである。

委員長： それでは全体を通して質疑やご提案等があればご自由にご発言下さい。

委員長： ないようですので、以上で本日の議題は全て終了しました。最終という事なので、一言申し上げたい。

海南病院改革計画策定に関する検討委員会での協議は一旦終了となるが、目標に対する実績がでた段階で、再度、委員の皆さんにもお集まりいただくことになった際には、よろしくお願ひしたい。

検討委員会でとりまとめた海南病院改革計画の内容については、町にあげていくことになるが、これからが改革の始まりであり、町民からは厳しい意見がでてくると思われる。しかし、多くの町民は海南病院の存続を願っており、海南病院の皆様には共通の問題意識を持って頂き、目標達成に向かって日々検証を行って頂くようお願いしたい。それでは、以上で第6回海陽町立海南病院改革検討委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。